



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 中部日本放送株式会社
コード番号 9402 URL <http://hicbc.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 大石 幼一

(氏名) 山下 雅弘

TEL 052-259-1322

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,329	△1.5	1,751	3.9	1,959	4.7	1,080	2.0
24年3月期第3四半期	24,707	0.7	1,686	8.1	1,872	10.4	1,059	29.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,016百万円 (62.3%) 24年3月期第3四半期 626百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	40.94	—
24年3月期第3四半期	40.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,285	45,596	75.6
24年3月期	59,898	44,918	73.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 44,838百万円 24年3月期 44,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
25年3月期	—	5.00	—		
25年3月期(予想)				7.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,650	△0.4	2,180	0.9	2,390	0.3	1,340	△3.0	50.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	26,400,000 株	24年3月期	26,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	848 株	24年3月期	674 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	26,399,240 株	24年3月期3Q	26,399,378 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. (参考) 個別業績	P. 11
(1) 個別経営成績(累計)	P. 11
(2) 個別財政状態	P. 11
(3) 個別売上高の内訳(累計)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
25年3月期 第3四半期	24,329	1,751	1,959	1,080
24年3月期 第3四半期	24,707	1,686	1,872	1,059
増減率(%)	△1.5	3.9	4.7	2.0

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移するもとで緩やかに持ち直しつつありましたが、海外経済の減速が強まるにつれ輸出や生産の減少した状態となっており、弱めで推移しています。

テレビ広告市況は、個人消費の底堅さを背景とした期間前半の改善傾向から一転し夏場以降は企業の業況感の慎重化により停滞しましたが、年末にかけては政権交代への期待感などから市況は持ち直しています。

このような事業環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、243億29百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

利益面では、営業利益は17億51百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益は19億59百万円（前年同期比4.7%増）、四半期純利益は10億80百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

	放送関連		不動産賃貸		ゴルフ場		その他	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
25年3月期 第3四半期	22,236	968	1,052	648	443	52	596	81
24年3月期 第3四半期	22,508	870	1,151	694	439	34	607	88
増減率(%)	△1.2	11.2	△8.6	△6.5	1.0	53.7	△1.9	△7.2

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈放送関連〉

「放送関連」は、柱となるテレビスポット収入が僅かながら増収となったものの、イベント収入などが減収となったことにより、売上高は222億36百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

利益面では、テレビ番組費やイベント原価、減価償却費などが減少したことにより、売上高の減少幅より費用の減少幅が大きくなったことから、営業利益は9億68百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

〈不動産賃貸〉

「不動産賃貸」は、東京の賃貸ビルにおいてテナントからの賃料収入が減少したことにより、売上高は10億52百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

利益面では、東京の賃貸ビルにおける売上高の減少が響き、営業利益は6億48百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

〈ゴルフ場〉

「ゴルフ場」は、震災の影響による落ち込みから回復し、来場者数が増加したことから、売上高が4億43百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は52百万円（前年同期比53.7%増）となりました。

〈その他〉

保険代理業、タクシー業などで構成される「その他」は、売上高が5億96百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は81百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて6億12百万円減少し、592億85百万円となりました。

流動資産は60百万円増加しました。主な内訳としては、現金及び預金が12億3百万円減少しておりますが、流動資産の「その他」に含まれる信託受益権を13億円購入しておりますので、この影響を除くと現金及び預金は96百万円増加しております。

固定資産は6億73百万円減少しました。これは、減価償却などにより有形及び無形固定資産が8億5百万円減少したことによるものです。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて12億90百万円減少し、136億88百万円となりました。これは、流動負債の引当金が3億49百万円増加した一方で、未払費用が12億74百万円、長期預り保証金が3億80百万円それぞれ減少したことによるものです。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて6億78百万円増加し、455億96百万円となりました。これは、四半期純利益の計上と配当金の支払いとの差額により利益剰余金が7億50百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結および個別の業績予想につきましては、平成24年11月8日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,345	12,142
受取手形及び売掛金	7,218	6,858
有価証券	1,875	2,306
たな卸資産	39	64
繰延税金資産	409	412
その他	850	2,013
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	23,727	23,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,179	25,145
減価償却累計額	△14,833	△15,249
建物及び構築物 (純額)	10,346	9,896
機械装置及び運搬具	22,529	22,463
減価償却累計額	△20,667	△20,879
機械装置及び運搬具 (純額)	1,862	1,583
土地	10,511	10,504
建設仮勘定	—	5
その他	1,458	1,470
減価償却累計額	△1,195	△1,221
その他 (純額)	262	248
有形固定資産合計	22,982	22,239
無形固定資産	309	246
投資その他の資産		
投資有価証券	9,248	9,285
前払年金費用	2,482	2,579
繰延税金資産	230	234
その他	1,112	1,101
貸倒引当金	△193	△188
投資その他の資産合計	12,879	13,011
固定資産合計	36,170	35,497
資産合計	59,898	59,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	166	206
未払費用	2,738	1,464
未払法人税等	373	344
引当金	122	471
その他	1,281	1,464
流動負債合計	4,682	3,951
固定負債		
退職給付引当金	712	742
その他の引当金	142	102
資産除去債務	103	70
繰延税金負債	1,226	1,155
長期預り保証金	7,442	7,061
その他	669	603
固定負債合計	10,297	9,737
負債合計	14,979	13,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	41,754	42,505
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,728	44,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431	359
その他の包括利益累計額合計	431	359
少数株主持分	759	758
純資産合計	44,918	45,596
負債純資産合計	59,898	59,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	24,707	24,329
売上原価	13,712	13,186
売上総利益	10,994	11,142
販売費及び一般管理費	9,308	9,390
営業利益	1,686	1,751
営業外収益		
受取利息	22	16
受取配当金	153	170
補助金収入	29	—
その他	60	90
営業外収益合計	266	278
営業外費用		
支払利息	71	64
固定資産除却損	4	2
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	2	2
営業外費用合計	79	70
経常利益	1,872	1,959
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8
会員権売却益	0	—
固定資産売却益	1	52
特別利益合計	1	60
特別損失		
投資有価証券評価損	59	173
会員権売却損	0	—
固定資産除却損	2	16
番組中止損失	—	24
特別損失合計	62	214
税金等調整前四半期純利益	1,812	1,804
法人税等	735	717
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	1,087
少数株主利益	17	7
四半期純利益	1,059	1,080

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	1,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△450	△71
その他の包括利益合計	△450	△71
四半期包括利益	626	1,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608	1,008
少数株主に係る四半期包括利益	17	7

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 賃貸	ゴルフ場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,508	1,151	439	24,099	607	24,707	—	24,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84	140	3	227	478	706	△706	—
計	22,592	1,291	443	24,327	1,086	25,414	△706	24,707
セグメント利益	870	694	34	1,599	88	1,687	△1	1,686

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益1,687百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益1,686百万円と調整を行っています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 賃貸	ゴルフ場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,236	1,052	443	23,732	596	24,329	—	24,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	140	4	209	485	694	△694	—
計	22,302	1,192	447	23,942	1,081	25,024	△694	24,329
セグメント利益	968	648	52	1,669	81	1,751	0	1,751

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益1,751百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益1,751百万円と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考)個別業績

①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

②「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,810	△1.1	1,541	6.5	1,764	6.0	981	△3.7
24年3月期第3四半期	22,063	2.5	1,448	16.3	1,664	19.0	1,019	49.5

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
25年3月期第3四半期	51,135	41,598
24年3月期	51,628	41,035

(3) 個別売上高の内訳(累計)

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 (平成24年3月期 第3四半期)	当第3四半期 (平成25年3月期 第3四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
ラジオ収入	1,835	1,818	△16	△0.9
タイム収入	1,015	997	△18	△1.8
スポット収入	775	794	19	2.5
その他収入	43	26	△17	△39.0
テレビ収入	19,393	19,158	△234	△1.2
タイム収入	5,560	5,409	△150	△2.7
スポット収入	11,395	11,407	12	0.1
クロスメディア収入	895	977	82	9.2
その他収入	1,541	1,363	△178	△11.6
賃貸収入	834	833	△0	△0.1
合計	22,063	21,810	△252	△1.1